

fall in 南人無

フォーリンナム

伝え！この想い



創刊号

2021.
05.01
vol.

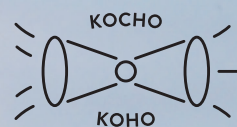
01

海潮時報

コラム
縁の中の力もち

ご案内
イベント・講座のご案内

聖典のへきれき！
初夏はおどろきを探しに



あなたに聴きたい 聞きたい
広聴広報室

名古屋教区 教化委員会

INSTRUCTIONS あなたに き聴きたい し報せたい

トリセツ 本誌の取り扱い説明



1 本誌では、別院境内で開催される各種事業（公開講座・研修等）を掲載しております。将来的に、別院境内のみならず尾張地域の事業の掲載も目指します。

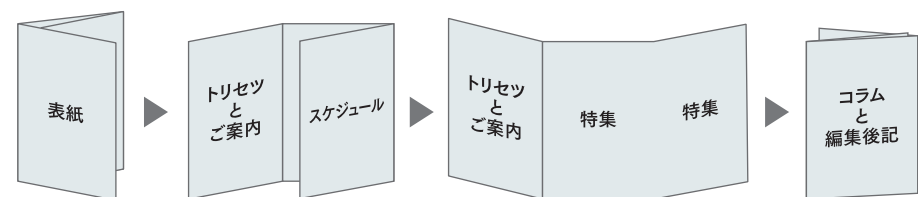
2 毎号特集では、テーマを決めてより深く様々な事業について紹介いたします(下図参照)。

3 表紙裏ページにトリセツと特集以外のイベント・講座を掲載いたします。

4 スケジュールページには、開催が予定されている主な教化事業を掲載いたします。講座・行事の開催日時はこのページでご確認ください。

5 表紙裏にはコラムと編集後記を掲載いたします。

6 是非持ち歩いていただいて、別院にお参りください！



INFORMATION ご案内

東別院暮らしの朝市

開催場所：境内

毎月「8」のつく日(8日、18日、28日)に開催。有機無農薬の野菜、手作りパンやお菓子、家庭料理、雑貨など、各回50店舗の出店があります。

一如さん

開催場所：境内・本堂

名古屋別院の開基である一如上人(東本願寺第16代)のご命日(元禄13年4月12日)にちなみ、午前と午後に本堂で「法要一如さん」が勤まります。境内では野菜、果物、植木、陶器、衣料品などの露店が軒を並べます。

児連夏のつどい

開催場所：本堂・対面所

例年は8月に1泊2日で開催していますが、今年は7月11日(日)に日帰りで行います。大人向けの講演会と、子ども向けのオリエンテーリングを予定しています。

インターネット講座

開催場所：ウェブ上

お東ネット(東別院)にて配信しています。下記QRコードよりご覧ください。



お東ネット
インターネット講座



YouTube
真宗大谷派名古屋別院

尾張講習会

開催場所：対面所

1886(明治19)年5月に「学場」という名前の講習会から始まり、1911(明治44)年に「尾張国講習会」へ、そして戦後に現在の「尾張講習会」に改称されました。「本講」は3日間、「次講」と「特別講義」はそれぞれ1日ずつ開講しています。特に「特別講義」は、真宗の話だけでなく、幅広い観点からお話をされる専門家をお招きしています。

EVENT SCHEDULE

スケジュール

5月～7月



(2021年5月1日現在)

分類	事業名	概要	該当月			時間
			5月	6月	7月	
教化伝道	定例法話	毎月5～28日開催				9:30～ 11:10～ 13:00～
	別院おそうじサロン	年3回	31日	29日	—	10:30～
	信道講座	年12回	9日	20日	11日	10:00～
	真宗門徒講座	年10回	26日	11日	27日	14:00～
教化センター	聖典研修	随時	10日	14日	12日	18:00～
社会事業	現代問題ラボ	随時	6日	8日	17日・18日	随時
	東別院こども広場	日時未定	—	—	—	—
	インターネット講座	随時	—	—	—	—
企画・広報	一如さん	毎月12日開催				—
	東別院暮らしの朝市	毎月8・18・28日開催				10:00～
教区	前任職前坊守懇話会公開講座	年1回	—	3日	—	14:00～
	教誨師会・保護司会 公開講座	年1回	—	—	—	—
	尾張講習会	年1回	—	—	5～9日	14:00～
	児連夏のつどい	年1回	—	—	11日	14:00～

お問い合わせ先(上記の色順で表記しています)

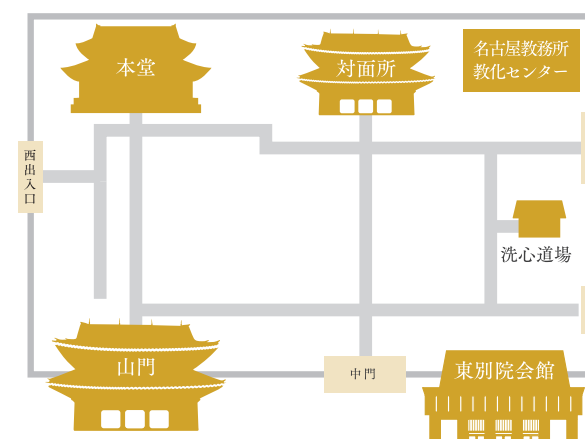
名古屋別院教化伝道部	TEL:052-331-9578
名古屋教区教化センター	TEL:052-323-3686
名古屋別院社会事業部	TEL:052-331-9576
名古屋別院代表	TEL:052-321-9201
名古屋教務所	TEL:052-331-2468

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、各種事業が中止あるいは延期となる可能性があります。日時・詳細は、東別院ホームページ(お東ネット)や『名古屋御坊』にて掲載いたしますので、ご参加の前にご確認ください。



東別院ホームページ
(お東ネット)

境内図 各イベントの開催場所はこちらをご参照ください。





熱弁をふるう講師と聴き入る参加者

聖典研修

深く
学ぶ！

開催場所：対面所
参加費：500円

『真宗聖典』を少しでも手に取り、学び、聞法する機会を作りたい！という大きな願いのもとに開催されています。じっくり丁寧に学習をしていることもあり、近年はご門徒さんの参加も増えています。テーマ、講師は開催年度ごとに変わります。様々な視点から『真宗聖典』をひもといていきます。



人生講座

考える！

開催場所：現在中止 ※以前は講事堂
参加費：300円

1967年に開講した人生講座は、新たな時代社会への応答を見据えながら始まりました。名古屋別院主催の事業として東別院会館(当時の名称は青少年会館)のホールや会議室、そして名古屋教務所議事堂へと会場を移しながら、50数年の歴史を経た現在も受け継がれています。様々な分野の専門家から現代社会の諸問題を聞き、「生きるとは」ということを考えてみませんか。

上：25周年記念講座の様子(1992年)
下：人生講座の様子(1974年)

別院奉仕研修

実践する！

開催場所：対面所及び境内
参加費：2,000円(昼食代含む・要申込)

1981年に始まった別院奉仕研修。東本願寺(本山)に宿泊してお参りをする「真宗本廟奉仕」を手本とし、当時は別院に一泊し(現在は日帰り)、研修を行っていました。この研修は若手講師・スタッフの実践の場でもあり、お寺さんにご門徒さんが共に集える大切な研修です。『正信偈』を共にお勤めし、お念仏の教えを聞き、境内の清掃を行い、自身の思いを語り合います。日常の生活から離れ、一日別院に身を据え、人との出遇いの中で自身を見つめる機会となります。



初夏は 聖典のへきれき！ おどろきを探しに

創刊号は講座・研修の特集です。真宗の教えにふれることで、新たな言葉との出遇い、人との出遇い、何より自分自身との出遇いにおどろきを感じるかもしれません。別院に来てみませんか？

信道講座

たずねる！

開催場所：対面所
参加費：300円

シユルタ
対応講座

信道講座は、前身である「信道会館教養講座」から120年にわたって続く、お聖教に学ぶ講座です。真宗・仏教の枠組みを超えて、様々な視点で講義が展開されます。現在、課題となっていることを共にたずねてみませんか。

定例法話

聞き
続ける！

開催場所：対面所
参加費：無料

聞法道場の基本となるご法話(お説教)を聞く場です。毎月5～28日まで、名古屋教区にとどまらず広く浄土真宗の布教使をお招きしてお話をいただきます。私たちの生活のうえにおいて仏教の教えがどう生きてくるのか、親鸞聖人のお言葉などを手がかりにわかりやすくお念仏の教えを解き明かしていきます。どなたでも聴聞できます。

真宗門徒講座

教えに
ふれる！

開催場所：対面所
参加費：300円

シユルタ
対応講座

この講座は、お釈迦様や七高僧、親鸞聖人が、伝灯された念仏の教えを学んでいく入門講座です。前半に若手の僧侶がお話し、それを受けて後半は教化センターの主幹がまとめの講義をいたします。仏教に関心のある方、関心はあるけれど聞く機会がなかった方にとっての「入り口」となる講座です。



『正信偈』の書写をする受講者(門徒講座)

清掃奉仕をする参加者(奉仕研修)

※「シユルタ」カード対応講座は東別院カード「シユルタ」(24回聴講券／3,000円)で聴講できます。

なか 縁の中の力もち

にんかい

「やっちく二人会」をご存じですか？

浄土真宗落語と法話というめずらしいスタイルで各地のお寺を中心に活動をされています。

この一見変わった組み合わせはどのようにして生まれたのでしょうか？

八木千春さんと竹原了珠さんにお話をうかがいました。



お二人の出会いから、「やっちく二人会」を結成の経緯を教えてください。

竹原:私が名古屋教務所に着任し、駐在業務として教化委員の候補を選定しなければならなかったときに、職員の間で「八木さんっていう門徒さんがいるよ!」と紹介されたのが始まりです。

八木:私は小学校の時に、ラジオで耳にした落語のとりこになりました。そして竹ちゃんと知り合いになって話す中で、落語がお話の中で重要な位置づけだということを知りました。その後、竹ちゃんが石川県のお寺に帰ることになり、大変さみしい思いに駆られて泣きそうな顔をしていた私に「このまま別れるのはなんかさみしいよね、2人で何かやろう!落語と法話のコラボレーションをしたいね」と声をかけてくれました。そこで、皆に馴染みやすい名前を作ろうという話になって、たまたま郡上の民謡の中に「やっちく」というものがあったので、私はとっさに八木の八と竹ちゃんの竹で「やっちく」でいこうと「やっちく二人会」にしました。2014年9月に結成して、今年で7年目になります。

落語と法話の打ち合わせ、構成などはどのようにされていますか。

竹原:最初は毎回事前に八木さんの家に泊まらせていただいて合宿をしていました。こんなテーマでどうかとすり合わせをしながら演目も考えるという形だったんですね。でも私が住職に就任してからは前日の打ち合わせができなくなりました。だから今は八木さんから事前に演目をいただいて、本番をイメージしながらお話しする内容を考えてのぞんでいます。

八木:同じお寺さんでは同じ話をしません。おまかせと言われればこちらで決めますね。

まわりの方の反応はどうですか。

竹原:いつもすべての演目が終わったときに本堂で皆さんを見送ります。そのときにうまくいったときには、「よかった〜」って言っていただけます。聞いてる人と一緒に作っているつもりなので、うまく阿吽の呼吸で会場が一体感に包まれたときは、ほっとします。

皆さんにお伝えしたいことはありますか。

竹原:「仏法って難しいものだ」、「おもしろくないものだ」と思いこんでいらっしゃる人にぜひ聞いていただきたい。落語の話をもとにして聞くと、仏法は意外に自分たちの身近にあるものだと感じていただけると思います。「教化」っていうと今では「お説教」だけですが、昔はお笑いや演芸として教えを聞くこともありましたが、教化にはもっと可能性があるはずで、1つの形にこだわらなくていいと思います。また、いろんな方法で教えを聞きたいという時代なんだと思います。

八木:「門徒も教化を担う」、それをこういう形で実行できたのは感謝していますね。

竹原:これができるのは八木さんが元気な間だけなので、気軽に声をかけてください。

八木:来年80歳になりますので。

竹原:お早めに(笑)

ありがとうございました。

プロフィール profile



やぎ ちはる なんとっていせんしゅう
八木千春(南立亭千笑)

1942年生。岐阜県郡上八幡出身、名古屋市在住。正敬寺(名東区)門徒。現在、名古屋教区教化委員、教区門徒会員、「でらボラ」ボランティア会員としても活躍中。



たけはら りょうしゅう
竹原了珠

1970年生。同朋会館で常勤補導として勤務、その後名古屋教区駐在教導を経て、現在、能登教区浄願寺住職。

お問い合わせ先: [八木] 052-831-7967 [竹原] 0767-68-3929

編集後記

新設された広聴広報室として初の広報誌「フォーリンナム」はいかがでしたか?別院境内の行事をわかりやすくお報せする!をテーマにしましたが、終始コロナに振り回されながらの発行となりました。「聴く」「報せる」を課題とする中、試行錯誤してまいりたいと思います。この初夏、ぜひ一度別院へ足をお運びください。(I)

発行日: 2021年5月1日
発行人: 小林 斉(真宗大谷派 名古屋教区 教化委員長)
発行所: 真宗大谷派 名古屋教区 教化委員会 広聴広報室
所在地: 〒460-0016 愛知県名古屋市中区橘2丁目8-55
TEL: 052-331-2468 FAX: 052-321-5845
nagoya@higashihonganji.or.jp
デザイン: 株式会社レンズアソシエイツ

詳しくはWEBをご覧ください。
<https://www.ohigashi.net/>

お東ネット



千鶴ちゃんとアヤちゃん